

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷 所 磐城印刷所
印刷 所 磐城印刷所
電話 一〇三三
發行所 磐城印刷所
電話 一〇三三
電話 一〇三三
電話 一〇三三

目も當てられぬ慘狀

藤原の大陥没

建徳寺の境内附近

亀裂から死体現はる

磐崎村大字藤原寺方建徳寺境没し同時に龜裂を生じた、墓内の墓地、同寺所有山林並に大地の石碑は折重つて倒れ龜裂の井川京太郎所有畑、この幅三十箇所からは棺桶が現はれて死体間長き五十間、総反別約五反歩が露出し目も當てられぬ慘狀が数日前から陥没の兆候を示し呈してゐる、山林の立木は全部てのた處二十五日後十時頃一椀に倒され畑は見る影もな大音響と共に一丈余に亘つて陥没有様と變り果てた。

大陥没の原因は

炭礦の地下採掘か

専門家の調査を依頼

陥没の原因について同村當局並に山監督局と縣から技術員の派遣に附近民は三井炭礦の地下採掘をこゝ調査の上原因が判明したに起因するものと思つてゐるが上で適當の策を講ずることにな陥没を知つた三井炭礦會社からつた。

平署と協力し

改葬の手續

係員踏査

が實現されてゐない語り炭礦徳寺住職、檀家の入々は二十六採掘による陥没である事を否認日來墓地に集つて死体の他取してゐる、然し炭礦從業者中に川十郎氏は改葬手續について二は同地の地下採掘を認めてゐる者が多いのでこれが眞偽を確め十七日平署に來り指押を仰いだため二十六日午後二時から酒の、平署から片寄警部補、橋し、親、家族、家計の次に分け實際生活上心掛ければなら

建徳寺の住職は語る。

「真夜中に山鳴りのやうな異様な音がして寺がみじく動いたので朝起きると直ぐ附近を見渡したところこの慘狀に驚きました、最初見た時よりはだん／＼陥没して來るやうですからどこまで陥没が續くか分らないので心配でたまらな

御大典を記念に

藤田校で花の日會

益金を貧困者に贈る

平町藤田女學校では御大典の事項を平易簡明に記したパンフレットを發行團員全股及び村の前後に於て街頭に花の日會を催はしその賣上益金を以て貧困者に贈り奉祝の誠意を示さんとする計劃である。

田入軍人分會

石城

郡田入組合村在郷軍人分會にて御大典記念事業として従來の忠魂碑を村社熊野神社境内に移轉すると共に約一千圓を費し石碑を建造することとなり目下工事を急いでゐる。

錦村女子青年團

石

城郡錦村女子青年團では現代思潮と共に農村女子としての強い信念を保持するが急務である。数六百株のうち四百三十株は發起人に於て引受済で残る百七十株を募集中で締切りは本月下旬第一回拂込は十一月十五日限り

酒造税の納付に

苦しむ石城酒造家

本年の酒造税八十萬圓

石城郡内五十三酒造家の本年度實際の納税者は直接の消費者で釀造見込高は二萬五千三百七十で消費者自身のあたりにこゝく昨年度の釀造高に比し七千二百五の減少であるが、これが税の七月以降前後八ヶ月の間に實額に八十八萬圓を突破し尙ほ八十萬圓といふ大金を都合せし納税する事になつてゐるが今期は恰も仕込時期に當面してゐる事と原料米の買入れ、器具機械の手入れ或は從業者の雇入に要する費用等莫大なる支出に要するに賣掛け代金回相つきさらだに賣掛け代金回八）は二十五日午後七時頃同坑左一坑内で運搬作業中後方から進行し來たつた金萬福（十八）せねばならぬ、二期分の納入は炭車に追突され炭車の間に挟まれて重傷を負ひ二十六日午前九時死亡した。

炭車に

挟まれ慘死

朝鮮平安南道大同郡龍岳面生れ當時磐崎村大字藤原三井炭礦飯場三宅富助方後山夫雀應宗（三八）は二十五日午後七時頃同坑左一坑内で運搬作業中後方から進行し來たつた金萬福（十八）せねばならぬ、二期分の納入は炭車に追突され炭車の間に挟まれて重傷を負ひ二十六日午前九時死亡した。

新造船隻登録

石城

平町前丸清旅館に滞在し二十六日午後三時頃平町研町八巻セツ方に至り價格六圓の人絹反物を白羽二重なりと欺いて十六圓に賣りつけた事平署で探知し逮捕の上目下取調中であるが、平地方に於て同様の手段で欺いたもの多數ある見込みである。

一般に知られて來た

三益玉炭の偉力

朝の火が夕方でも使へる

勿來弓道會

大日本弓

道會勿來支部では明二十八日午後九時から同町弓道秋季弓道大会を開催するが競技は尺二的八圓で十六個内外（價格四錢）を玉炭用七輪に入れ点火すると火力は木炭の約三倍程あり火持ちは約十二時間程持つから朝に点火したものは午後になつても焚燒きが出来るといふ便利なるものである。之を爐や火鉢に用ふる時には火持ち約二十時間程に殊に秋冬の暖爐用燃料には最も好適なものである。阿部石炭店では目下宣傳中であるため希望者には實驗する由であるが、最近では地方民の多くはその簡易で有利なる事を知り羨望き其他に殆んどこの三益玉炭を使用してゐる有様である。

人絹を

ごまかして賣る

相馬郡石神村大字北長野字原田生れ當時仙臺市二十八町黒川力松方番頭吳服行商人黒川勇（二四）は二十二日から平町に來り平町前丸清旅館に滞在し二十六日午後三時頃平町研町八巻セツ方に至り價格六圓の人絹反物を白羽二重なりと欺いて十六圓に賣りつけた事平署で探知し逮捕の上目下取調中であるが、平地方に於て同様の手段で欺いたもの多數ある見込みである。

三社主催 演藝大會

警視調査新聞外二社主催石城演藝大會は十一月六日午前六時から平劇場を開く筈であるが平藝技十八名が揃って長唄合奏等を行ふ外音曲各種あり盛會を豫想されてゐる。

▲上遠野の赤痢 石城

郡上遠野村大字根岸成澤芳賀藤三郎(四二)は数日前より下痢を起し同村小村醫師の診断により二十三日赤痢と判明直に隔離舎に收容植田署では役場と協力大消毒を施し豫防法を講じてゐる。

▲植田町のチブス 植

田町の腸チブス患者は一時九名を出し猖獗を極め隔離舎も收容難の状態であつたが、現在では二名に減じ内一名も近日全快する事になりやうやく終熄に至つたが二十六日大字小濱丹野藤一(四七)は同町片岡、田村兩醫師の診断により眞症チブスと確定直に收容すると共に大消毒に努めてゐる。

東京三越の 陳列即賣

二十八、二十九兩日 當地方より東京三越へ通信販賣に依りて取引する華客は年々共に増加するので同店では此等の便宜を計り平素の謝恩を兼ね又一面中央に於ける物價の標準を示すため愈々来る二十八日、二十九日の兩日平町住吉屋本店に出張し今年秋季節向き三越獨特の最新流行品を陳列し一般來觀者を歓迎すると、特に差し追まつた御大典前の折柄儀式服及

び御婚禮、七五三等の御祝儀用ニ千六百ヨリ公開萬端洩れなく取揃へ其の他流行の呉服、雜貨類は勿論實用品、格安反物、特價品まで豊富に陳列並に販賣すべく價格は前出張の際に比べ二割安く種類に依りては三割以上も原價低落下居るので今回は奉仕的に優良品のみを意外の廉價斷行することの事で當日は定めし觀覽者も多数なるべく豫想さる。

鳥御料理

うなぎ 蒲焼 魚 榮

平町南町平館隣り 電話四二四番

珍戰將軍の巻 毒血 捕吏 朱鞘組 有聲座

電話番号變更

八三四番

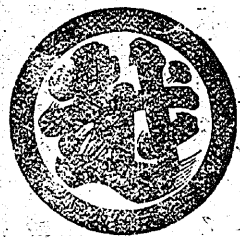
遠藤帽子店

内柳科、小兒科 入院應需

藤沼醫院

平町細屋町 電話三五〇七番

古流盛生花教授 折入花教授 家元師範 松留齊 吉田理秀



東京の三越來る

十月廿八、廿九日の二日間(午後五時より)

仙、小紋、大島、銘、帯、半袴、モス、リン等最新呉服類、子供服、タオル、シャツ、靴下、石鹸、傘、下敷、其他格安實用品、御大典記念として贈牌、記念券、風呂敷等開列

三越 東京市 日本橋

内臓外科 藤本順

骨關節外科 木村寅次郎

整形外科 木村寅次郎

平新川町(電話一六四)

御大典記念福引大賣出し

御婚禮祝着一式 御召・小紋・大島・銘仙 訪問着・エバ羽織・各種

金五圓毎ニ福引券進呈

特等 丸タンス 一本 一等 銘仙 一本 二等 二銘 一本 三等 風呂敷 一本 四等 手拭 一本 五等 手拭 一本

三井呉服店

平三丁目 電話三八・七五一

クノイ 散 定價(二十錢・三十錢) 本劑は神經系の鎮痛強壯内服薬として藥化學的に成功せる新劑なり 故に齒痛、頭痛、神經痛、リウマチ等の神經系の諸症、偉大なる効を奏す。直ちに試みよ。 善は急げ、試験はタツタ五分間。 當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり

筑前琵琶教授 吉田旭良 有山旭千師直門 平町大町若松病院向いづみや方